



外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信



技能実習生
ぞくぞく
配属中



シュエダゴンパゴダの黄金のストウーパ

アイブリッジ協同組合では、結核対策を重要課題と考えて実習生が母国で行う胸部X線検査に加え、「公益財団法人結核予防会」にご協力いただきX線画像の再読影を行っています。

採用時

健康診断
(胸部X線)



結核予防会
(二重読影)



入国前

健康診断
(日本法人)

問題がある場合



QFT検査

新人さんを迎えるチームづくり

新人さんを迎えるとき、「どう伝えたらいいんだろう」「ちゃんと伝わっているかな」と感じることも多いと思います。特に介護の現場では、業務の流れや対応の仕方が細かく、言葉だけでは伝えられません。さらに、外国人スタッフが加わる場面では、言葉や文化の違いから、伝え方を工夫する場面も増えています。安心して働ける環境につなげるように、チームで関わり、支え合うこと。新人さんにとっても、迎える側にとっても、よりよい現場づくりにつながっていきます。

新人さんが加入した際の発生しがちな3つの「心理的ギャップ」について見てみましょう。

1. リアリティ・ショック (期待のズレ)

- あるある：「思っていた仕事と違う」など
- メカニズム：事前の期待値と現実の差から生じる衝撃



2. スポットライト効果 (過剰な緊張)

- あるある：「監視されているようで怖い」など
- メカニズム：自分が他人に注目されている度合いを過大評価



3. 知識の呪い (伝え方の壁)

- あるある：「一度教えたのになぜ出来ないのか」など
- メカニズム：相手はわかっているはずだという錯覚



そんな新人さんたちが一人前になるためにどんな方法があるのでしょうか？
科学的根拠に基づいた観点で考えてみましょう。

ギャップの原因

背景

具体的な解決策例

1. 期待のズレ

新人は「この仕事だけすればいいはず」という独自の期待を持っています。このズレを埋めるには、**期待値の明確化**が必要です。

「今週はこれだけでOK」と目標を絞る
最初から完璧を求めず、「最初の1ヶ月はこれができれば100点」という具体的に低いハードル（スモールステップ）をわかりやすく示します。

2. 過剰な緊張

「監視されている」という恐怖は、脳の認知機能を低下させます。これを解くには、「失敗しても攻撃されない場所である」という**安全性が必要**です。

「私も昔やったよ」と笑顔でフォローする
ベテラン社員や指導役が「自分も昔、同じミスをして怒られたんだよ」と自分の失敗をオープンに話します（自己開示）。

3. 伝え方の壁

人間は「言葉」と「イメージ」の両方で情報を受け取ると、**記憶の定着率が劇的に上がります**。言葉だけの指示は、新人にとって過度な負荷（認知的負荷）となります。

写真や図を使い、短い言葉で伝える
「適当に並べて」ではなく、「この写真と同じように置いて」等、マニュアル等で可視化する。またチェックリストの活用なども効果的です。

言葉の壁もチームで超える！みんなで支え合う、安心の現場づくりを目指しましょう!!

命と生活を守る！自転車交通ルール徹底

2026年4月からの厳罰化により、自転車の「ながらスマホ」や「酒気帯び運転」への罰則が劇的に厳しくなりました（**青切符導入**）。日本語が十分でない実習生にとって、「知らなかった」では済まされない事態を招くリスクがあります。

実習生へ伝えるべき「5つの禁止事項」



酒気帯び運転
厳罰化！



ながらスマホ
厳罰化！



イヤホン・ヘッドホンの使用



夜間のライト無点灯
二人乗り



一時停止「止まれ」
標識無視

自動車と同じく、
酒気帯び運転に
罰則が適用

手に持つだけで
なく、画面を注視
することも禁止

イヤホン・ヘッドホ
ンの使用周囲の
音が聞こえない
状態での運転

日本の道路では
非常に目立ち、
警察官に止めら
れる一番の原因

日本の交差点
ルールで最も
事故が多いポイ
ント

施設・受け入れ側の取り組み（リスク管理）

実習生が事故を起こした場合、施設側にも管理責任や道義的責任を問われる可能性があります。事前の対策を忘れずに！

■ 自転車点検の義務化

ブレーキ、ライト、反射板が正常か定期的に
チェックリストで確認。

■ 自転車保険への加入（**必須**）

多くの自治体で義務化されています。施設で
一括加入するか、共済への加入状況を確認。

■ 防犯登録の確認

譲り受けた自転車が「盗品」扱いされないよう、必ず名義変更を確認します。

■ ルールの視覚化

駐輪場や玄関に、禁止事項を絵にしたポスターを掲示。



自転車点検の義務化



ルールの視覚化

もし事故・違反が発生したら？（緊急対応フロー）

■ 救護と警察 119番・110番

怪我人の救護を最優先し、必ず警察を呼ぶ（その場を離れると「当て逃げ」になる）。

■ 施設へ連絡 管理者へ即報告

事故の場所、状況、相手の情報を報告させる。

■ 現場の記録 写真撮影

自転車や現場の状況をスマホで撮影しておくよう指導。

■ 監理団体報告 状況共有

軽微な違反（切符を切られた等）でも、後のトラブルを防ぐため監理団体へ報告。

アイブリッジ協同組合は

介護・医療に特化した技能実習・特定技能の監理団体です。

人材不足でお困りの施設様に寄り添い、人材確保のお力になれるよう精一杯努めます！！



今月の実習生紹介

医療法人靖和会「やまぶきの郷」様 (埼玉県坂戸市)

施設ご紹介

名称	医療法人靖和会 介護老人保健施設 やまぶきの郷
所在地	〒350-0246 埼玉県坂戸市多和目330番地
理事長	木川 浩志
事業内容	◆ 介護老人保健施設…定員100名 一般棟入所定員…50名 認知症専門棟入所定員…50名 ◆ 通所リハビリテーション…定員40名 ◆ 訪問リハビリテーション ◆ 居宅介護支援事業所



四季折々の花がとても美しい施設です。

※医療法人靖和会様HPから引用
<https://yamabukinosato.jp/>

お祭りの楽しさは世界共通！！
実習生5名がミャンマーの踊りで大盛況！！

靖和会やまぶきの郷様にて、毎年恒例の春まつりが5月に行われました。アイブリッジ協同組合の技能実習生5名の皆さんは、ミャンマーの踊りを披露いたしました！



ミャンマーの民族衣装でバッチリきまってます。

5人のチームワークも完璧



最後の決めポーズ
「決まった！」

木川会長、赤塚施設長
小鹿野事務長と記念写真



アイブリッジ協同組合 LINE公式アカウント



- ☑ 技能実習生の入国状況
- ☑ 新しい取り組み
- ☑ ミャンマーの国内状況
- ☑ 補助金・助成金制度
- ☑ 実習生の有効活用 などなど



LINE公式アカウント

@924wkeqs



アイブリッジ協同組合

所在地 : 〒104-0044
東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー40F
T E L : 03-6228-4196 FAX:03-6228-4894
U R L : <https://www.ibridge.or.jp> mail: info@ibridge.or.jp



2025年8月1日発行